



2021年8月13日

各位

会社名 日本精蠟株式会社
 代表者名 代表取締役社長
 社長執行役員 安藤 司
 (コード番号 5010 東証第2部)
 問合せ先 取締役 執行役員 濱島 学
 (TEL 03-3538-3061)

2021年12月期第2四半期業績予想と実績値との差異及び中間配当の見送りに関するお知らせ

2021年2月26日に公表いたしました2021年12月期第2四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年6月30日)の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、以下のとおりお知らせいたします。

また、2021年8月13日開催の取締役会において、剰余金の配当(中間配当)を見送らせていただくことを決議いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年12月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異について
 (2021年1月1日～2021年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 11,300	百万円 120	百万円 40	百万円 30	円 銭 1.52
実績値(B)	12,752	180	187	174	8.82
増減額(B-A)	1,452	60	147	144	—
増減率(%)	12.9	50.5	368.5	480.3	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年12月期第2四半期)	10,824	△2,294	△2,987	△3,033	△153.63

(差異理由)

原油相場高騰に伴う重油市場価格アップ、海外ワックス価格市況アップによる売上高増、及び固定費における継続的なコストダウンの取組み、為替差益、棚卸評価損の減少等により、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する四半期純利益、いずれも2021年2月26日公表の業績予想を上回る結果となりました。

なお、通期連結業績予想につきましては、変動の激しい原油相場の影響及び新型コロナウイルス感染症拡大の影響による世界的なワックス需給の見通しが不透明であるため、前回予想値を据え置いております。

2. 剰余金の配当(中間配当)見送りについて

	決定額	直近の配当予想 (2021年2月26日公表)	前期実績 (2020年12月期中間配当)
基準日	2021年6月30日	2021年6月30日	2020年6月30日
1株当たり配当金	0円00銭	未定	0円00銭
配当金総額	—	—	—
効力発生日	—	—	—
配当原資	—	—	—

(修正の理由)

当社は、利益配分の方針として、長期にわたる安定配当を継続して実施することに加え、財務体質の改善と将来の事業展開に備えるべく内部留保の充実を図ることを基本としております。

剰余金の配当(中間配当)は第2四半期業績は計画を上回っておりますが、第3四半期以降の原料面、ワックス販売面での環境、状況に依然不透明感がありますことから、まず財務体質の改善を優先させていただくことで、見送りとさせていただきます。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

通期での業績予想達成に向け、第3四半期、第4四半期と引き続き、業績改善、安定化に注力し、復配を目指してまいります。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上